

令和5年度多摩市予算(案)について

一般会計予算 587億3,000万円（前年度比6.9%減）
3つの特別会計を合わせた総予算911億8,171万2千円（3.6%減）

次の50年に向けた新しい未来への基盤づくりを進めます！

令和5年度の予算では、新型コロナウイルス感染症や地球温暖化等の気候危機や物価高騰による市民生活への影響に配慮しながら、5つの視点で令和5年度の予算編成を行いました。

<予算編成方針>

(1) 物価高騰、円安の進行、ウイズコロナ、ポストコロナに向けた取り組み

物価高騰や円安の進行等により、依然として市民生活等に大きな影響を及ぼしています。この状況の長期化を見据えた生活支援や地域に活力を取り戻す取り組みを切れ目なく実施していきます。

(2) 住みやすく暮らしやすい多摩市の実現のための取り組み

こども家庭庁の創設を踏まえ少子化対策や子ども・子育て支援対策を更に進めていきます。すべての人にとって住みやすく暮らしやすい多摩市の実現を目指し、その魅力を効果的に外部へ発信していくことで、来街促進や定住促進等につなげる施策を実施していきます。

(3) 健幸まちづくりのさらなる推進

感染対策を講じながらも、市民の健康と幸せを後押し、健幸まちづくりを更に推進していきます。特に、健康二次被害からの脱却を図るために、感染防止対策を踏まえた健康づくり、健診等の受診勧奨の推進を図り、交流の機会や地域活動への参加の機会の減少を踏まえた市民活動の支援等に取り組めます。

(4) 環境共生型都市を目指し、環境負荷低減の推進

脱炭素社会づくりに向けた取り組みとして、2030年、2050年の目指すべき「まちの姿」や一人ひとりの関心と行動を変えていくための取り組みを進めていきます。

(5) 持続可能な行財政運営に向けた取り組みの強化

事業の有効性や手法を一から見直した上で、デジタルを活用した業務改革であるデジタルトランスフォーメーションの推進や公民連携の積極的な導入など、既存概念にとらわれずに効率性の向上、経常経費の削減を図っていきます。

〈予算の特徴〉

- 1 歳入においては、今年度実績等を考慮し、市税や税連動交付金では令和4年度当初予算で見込んだより、新型コロナウイルス感染症の影響による減収が生じないと想定し、約14億2千万円の増額としました。
- 2 歳出では、引き続きの扶助費の自然増や繰出金の増などの増加要因もありますが、多摩市立中央図書館の建設事業の完了などによる普通建設事業の減少に伴い、一般会計の予算規模としては587億3千万円と前年度と比較して43億3,700万円の減額となりました。
- 3 財政指標については、市税及び税連動交付金等の増加等により、それ以上に一般財源が増加したことから、財政の硬直化を示す経常収支比率は0.9ポイント改善しました。
- 4 令和5年度は、第六次総合計画を策定し、このほか10を超える計画や方針などの策定又は改定作業が本格化し、次の50年に向けて新しい未来への基盤をつくる年度と位置づけ、計画等の策定に係る取り組みのほか、未来に向けた子ども・子育て施策、環境負荷軽減に向けた取り組みや魅力あるまちづくりに関する取り組み等の政策を進めるために、財政調整基金をはじめとした各種基金についても活用し、予算編成を行いました。

《歳入》

- ① ウイズコロナとなり、コロナ前への回復基調が出てきていることにより減収が少ないと見込んだことによる市税の増……約7億1千万円の増
- ② 普通建設事業費の減少に伴う基金の取り崩しの減少に伴う繰入金の減……約15億2千万円

《歳出》

- ① 多摩市立中央図書館整備工事の完了に伴う減……約37億円
- ② 高齢化等による各特別会計への繰出金の増……約5億8千万円
- ③ 多摩中央公園改修整備・運営事業での改修工事費の増……約7億8千万円

《主要事業》別紙参照